

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 社会科（地理的分野・歴史的分野）	
教科担当	長濱 和章	
教科書名	社会科 中学生の地理（帝国書院）	社会科中学生の歴史（帝国書院）
副教材名 （問題集）	日本地図（国土地理院） 中学校地理資料（帝国書院） 積み上げ地理1（明治図書） 沖縄県版歴史学習ノートI	積み上げ地理1（明治図書） 沖縄県版歴史学習ノートI

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。
生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活につながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 社会科の学習について

学習のねらい	<p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地理的事象に関心を持てるようにし、日本の国土や世界の国々に対する理解を深める。 ○広い視野に立ち、地理的事象を多面的・多角的に捉え、身近なもの絡めて考察する力をつける。 ○資料・地図を適切に活用する力を養う。 	<p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的事象に関心を高め、日本の歴史に対する理解を深め、日本人として自覚をもてるようにする。 ○広い視野に立ち、歴史的事象を多面的・多角的に捉え、身近なもの絡めて考察する力をつける。 ○史料を適切に読み、考察する力を養う。
授業のすすめ方	<p>(1) 授業は、ノートの板書を中心にを行います。しっかりきれいにまとめてください。 (2) 単なる暗記ではなく、統計資料や写真、地図等から何が読み取れるか (3) 電子黒板等を用いて、視覚的に双方向の授業を展開します。 (4) テレビや新聞、インターネットなどのニュースを通して、時事問題への関心を高め社会的事象に対する見方や捉え方を育てます。 (5) アクティブラーニング型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させながら、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>	
学習上の留意点	<p>(1) 基本的な事項を「理解」して覚える。（世界の州・国・海洋の位置関係や時代区分など） (2) 教科書・地図帳・ノートなどに大事な箇所はアンダーラインをつけるなどし、家庭学習でも確認をする。 (3) 資料、統計、地図から何か読み取れるか視察できるようにする。 (4) 身近な出来事や自分の生活と関連比較し、当事者意識や主体性をもって学習する。</p>	

2 評価について

評価方法	<p>□成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業・問答・態度、各種提出物などを総合して評価します。 □評価の観点は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」です。 □宿題は授業の内容に関するもの（地理・歴史ノート、プリント）を週3回を定期的に出します。冬や休みや夏休みの宿題は新聞等の課題学習的なものです。 *テストの点数だけで評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしてください</p>
定期テスト	<p>□授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 □試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 □2020年度（予定）から始まる新大学入試に向けた思考力・判断力を問う問題を出題します</p>

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 ガイダンス ※シラバスを用いて学習内容や評価について説明する。	社会科シラバス
5月	【地理的分野】 1章 世界の姿 地球をながめて 世界のおもな国 緯度と経度 地球儀と世界地図の違い 世界の略地図	電子黒板 デジタル教科書
6月	2章 世界各地の人々の生活と環境 世界各地の市場をながめて 暑い地域の暮らし 寒い地域の暮らし 乾燥した地域の暮らし	ワークプリント ノート 日本地図 中学校地理資料 地理のワーク
7月	高地の暮らし 世界の住居・衣服とその変化 世界の食文化とその変化	期末テスト 6月26日(水) ～28日(金)
8月	宗教と生活のかかわり	
9月	3章 世界の諸地域 アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	実力テスト 8月27日(火) 28日(水)
10月		
11月	【歴史的分野】 導入 歴史学習の基礎・基本・時代の移り変わりを調べよう	中間テスト 10月15日(火) 16日(水)
12月	第2部 古代国家の成立と東アジア ①人類の登場から文明の発生へ ②東アジアの中の倭(日本) ③中国にならった国家づくり	期末テスト 11月20日(水) ～22日(金)
1月	④展開する天皇・貴族の政治	
2月	第3部 武家政権の成長と東アジア ①武家の始まり ②武家政権の内と外 ③人々の結びつきが強まる社会	学年末テスト 2月12日(水) ～2月14日(金)
3月	第4部 武家政権の展開と世界の動き ①大航海時代によって結びつく世界②戦乱から全国統一へ	

4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・先生の話や友達の意見を静かに真剣に聞きましょう。その際はおしゃべりや他の作業はしない。
- ・今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨みましょう。
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。
- ・ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・宿題はその日に行った授業の内容のものです。必ずその日のうちに行き行って翌日提出してください。
- ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくといいでしょう。
- ・最低でも定期テスト2週間前には定期用の勉強をしてください。問題集などを買って用意することを推奨します。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。
- ・普段から、新聞やテレビのニュースから日本と世界の出来事を知り、分からなかったり、興味を持ったりした事柄はすぐに調べる習慣をつけましょう。

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 社会科（地理的分野・歴史的分野）	
教科担当	長濱 和章	
教科書名	社会科 中学生の地理（帝国書院）	社会科中学生の歴史（帝国書院）
副教材名 （問題集）	日本地図（国土地理院） 中学校地理資料（帝国書院） 積み上げ地理2（明治図書） 沖縄県版歴史学習ノートⅡ	積み上げ地理2（明治図書） 沖縄県版歴史学習ノートⅡ

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。
生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活につながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 社会科の学習について

学習のねらい	<p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地理的事象に関心を持てるようにし、日本の国土や世界の国々に対する理解を深める。 ○広い視野に立ち、地理的事象を多面的・多角的に捉え、身近なもの絡めて考察する力をつける。 ○資料・地図を適切に活用する力を養う。 	<p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的事象に関心を高め、日本の歴史に対する理解を深め、日本人として自覚をもてるようにする。 ○広い視野に立ち、歴史的事象を多面的・多角的に捉え、身近なもの絡めて考察する力をつける。 ○史料を適切に読み、考察する力を養う。
授業のすすめ方	<p>(1) 授業は、ノートの板書を中心に行います。しっかりきれいにまとめてください。 (2) 単なる暗記ではなく、統計資料や写真、地図等から何が読み取れるか (3) 電子黒板等を用いて、視覚的に双方向の授業を展開します。 (4) テレビや新聞、インターネットなどのニュースを通して、時事問題への関心を高め社会的事象に対する見方や捉え方を育てます。 (5) アクティブラーニング型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させながら、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>	
学習上の留意点	<p>(1) 基本的な事項を「理解」して覚える。（世界の州・国・海洋の位置関係や時代区分など） (2) 教科書・地図帳・ノートなどに大事な箇所はアンダーラインをつけるなどし、家庭学習でも確認をする。 (3) 資料、統計、地図から何か読み取れるか視察できるようにする。 (4) 身近な出来事や自分の生活と関連比較し、当事者意識や主体性をもって学習する。</p>	

2 評価について

評価方法	<p>□成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業・問答・態度、各種提出物などを総合して評価します。 □評価の観点、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」です。 □宿題は授業の内容に関するもの（地理・歴史ノート、プリント）を週3回を定期的に出します。 冬や休みや夏休みの宿題は新聞等の課題学習的なものです。 *テストの点数だけで評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしてください</p>
定期テスト	<p>□授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 □試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 □2020年度（予定）から始まる新大学入試に向けた思考力・判断力を問う問題を出題します</p>

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 ガイダンス ※シラバスを用いて学習内容や評価について説明する。	社会科シラバス
5月	【地理的分野】 1章 日本の姿 世界の中での日本の位置 時差でとらえる日本の位置 日本の領域と領土問題 都道府県と県庁所在地 さまざまな地域区分	電子黒板 デジタル教科書
6月	2章 世界と比べた日本の地域的特色 自然環境の特色 人口の特色 資源や産業の特色 地域間の結びつきの特色	ワークプリント ノート 歴史ノート沖縄版
7月	3章 日本の諸地域	
8月	九州地方	期末テスト 8月27日(火)
9月	中国四国地方	28日(水)
10月	近畿地方	
11月	中部地方	中間テスト 10月15日(水)
12月	関東地方	16日(木)
1月	東北地方	
2月	北海道地方	期末テスト 11月20日(火)
3月	【歴史的分野】 1年の歴史の復讐 第4部 武家政権の展開と世界の動き ①武士による支配の完成 ②天下泰平の世 ③社会の変化と幕府の対策④社会の変化と幕府の対策	～22日(木)
	第5部 近代国家の歩みと国際社会 ①欧米諸国における「近代化」②開国と幕府の終わり ③新しい価値観の下で ④近代国家への歩み ⑤帝国主義と日本 ⑥アジアの強国の光と影	学年末テスト 2月12日(水)
		～2月14日(金)

4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・先生の話や友達の意見を静かに真剣に聞きましょう。その際はおしゃべりや他の作業はしない。
- ・今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨みましょう。
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。
- ・ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・宿題はその日に行った授業の内容のもので、必ずその日のうちに行って翌日提出してください。
- ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくといいでしょう。
- ・最低でも定期テスト2週間前には定期用の勉強をしてください。問題集などを買って用意することを推奨します。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。
- ・普段から、新聞やテレビのニュースから日本と世界の出来事を知り、分からなかったり、興味を持ったりした事柄はすぐに調べる習慣をつけましょう。

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 社会科（歴史的分野・公民的分野）	
教科担当	長濱 和章	
教科書名	社会科 中学生の歴史（帝国書院）	社会科中学生の公民（帝国書院）
副教材名 （問題集）	積み上げ歴史2（明治図書）	中学生の公民問題集（帝国書院）

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中生徒のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのもまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。
生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活がつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 社会科の学習について

学習のねらい	<p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的事象に関心を高め、日本の歴史に対する理解を深め、日本人として自覚をもてるようにする。 ○広い視野に立ち、歴史的事象を多面的・多角的に捉え、身近なもの絡めて考察する力をつける。 ○史料を適切に読み、考察する力を養う。 	<p>【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に関心を高め、自由・権利・責任と義務の関係を広く認識し、民主主義の大切さを学び公民としての必要な教養を身につける。 ○広い視野に立ち、社会的事象を多面的・多角的に捉え、様々な資料を適切に収集し選択し事実を正確にとらえ公正に判断表現する力をつける。
授業のすすめ方	<p>(1) 授業は、ノートの板書を中心にを行います。しっかりきれいにまとめてください。 (2) 単なる暗記ではなく、統計資料や新聞記事からどのような課題があるかを考察します。 (3) 電子黒板等を用いて、視覚的に双方向の授業を展開します。 (4) テレビや新聞、インターネットなどのニュースを通して、時事問題への関心を高め社会的事象に対する見方や捉え方を育てます。 (5) アクティブラーニング型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させながら、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>	
学習上の留意点	<p>(1) 基本的な事項を「理解」して覚える。（世界の州・国・海洋の位置関係や時代区分など） (2) 教科書・地図帳・ノートなどに大事な箇所はアンダーラインをつけるなどし、家庭学習でも確認をする。 (3) 資料、統計、地図から何か読み取れるか視察できるようにする。 (4) 身近な出来事や自分の生活と関連比較し、当事者意識や主体性をもって学習する。 (5) 社会的事象に関して自分なりの考えを必ずもち、なぜそう考えるか根拠を持って他の者に伝えられるようにする。</p>	

2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> □成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業・問答・態度、各種提出物などを総合して評価します。 □評価の観点は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」です。 □宿題は授業の内容に関するもの（地理・歴史ノート、プリント）を基本週3回を定期的に出します。 冬や休みや夏休みの宿題は新聞等の課題学習的なものです。 *テストの点数だけで評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしてください
定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> □授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 □試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 □高校入試を意識した問題を多く出題します。（統計資料や地図から課題を考察する問題） □2020年度（予定）から始まる新大学入試に向けた思考力・判断力を問う問題を出题します

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 ガイダンス ※シラバスを用いて学習内容や評価について説明する。 2年の歴史の復讐	社会科シラバス
5月	【歴史的分野】 第6部 二度の世界大戦と日本 ①第一次世界大戦と民族独立の動き②高まる民主主義の意識 ③帝国主義と日本の行方④アジアと太平洋に広がる戦線	電子黒板 デジタル教科書
6月	第7部 現在に続く日本と世界 ①敗戦から立ち直る日本②世界の多極化と日本の成長 ③これからの日本と世界	ワークプリント ノート 歴史ノート沖縄版
	【公民的分野】 導入・公民学習の基礎基本	期末テスト 6月26日(水) ～28日(金)
7月	第1部 私たちと現代社会 ①私たちの生きる現代社会について考えよう②私たちの生活と文化 について考えよう③私たちの生きる現代社会の見方・考え方	期末テスト 8月27日(火) 28日(水)
8月	第2部 私たちと現代社会 ①民主主義について考えよう②日本憲法について考えよう ③国民として国の政治を考えよう④住民として地方自治について考 えよう	
9月		
10月	第3部 私たちと経済活動 ①私たちの生活と経済について考えよう②消費者として経済を考え よう③企業を通して経済を考えよう④納税者として経済を考えよう	中間テスト 10月15日(水) 16日(木)
11月	第4部 私たちと国際社会 ①世界平和の実現をめざして②環境問題について考えよう	期末テスト 11月20日(火) ～22日(木)
12月		総合テスト1月9日10日 (木～金)
1月	第5部 より良い社会をめざして ①持続可能な社会について考えよう②	
2月		学年末テスト 2月12日(水) ～2月14日(金)
3月	高校入試対策	

4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・先生の話や友達の意見を静かに真剣に聞きましょう。その際はおしゃべりや他の作業はしない。
- ・今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨みましょう。
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。
- ・ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・宿題はその日に行った授業の内容のものです。必ずその日のうちに行って翌日提出してください。
- ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、書けるようになっておくといいでしょう。
- ・最低でも定期テスト2週間前には定期用の勉強をしてください。問題集などを買って用意することを推奨します。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。
- ・普段から、新聞やテレビのニュースから日本と世界の出来事を知り、分からなかったり、興味を持ったたりした事柄はすぐに調べる習慣をつけましょう。